

世界のISO認証件数が発表

ISO(国際標準化機構)は、2021年末時点での世界のISOマネジメントシステム規格の認証件数について集計・調査した“ISO Survey 2021”を公表しました。従来のISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO45001(労働安全衛生)、ISO/IEC27001(情報セキュリティ)、ISO22000(食品安全)、ISO13485(医療機器)、ISO50001(エネルギー)、ISO20000-1(ITサービス)、ISO37001(贈収賄防止)、ISO22301(事業継続)、ISO39001(道路交通安全)、ISO28000(サプライチェーンセキュリティ)に今回新たに4規格を加えた16規格が対象でその認証数すべてに増加がみられました。従来の12規格の認証総数も前年比23%増と大幅に増加し、増加要因として、特にISO45001、ISO9001、ISO14001での中国の認証数増加と今回の調査への参加が増えたことによる件数の大幅な伸びが挙げられています。

規格別認証数では、ISO9001は1,077,884件(前年比18%増)で、国別では日本は4位の40,834件、ISO14001は420,433件(前年比21%増)で、日本は2位の21,976件でした。

その他、ISO27001は6,587件で日本は2位、ISO22000は1,377件で4位、ISO45001は1,685件でした。この調査の詳細については、ISOのホームページをご覧ください。(https://www.iso.org/the-iso-survey.html)

ISO 22000:新セミナー案内

ISO 22000:2018(食品安全マネジメントシステム)の新コースについてご案内いたします。

1)「ISO 22000:2018 規格解釈一日コース」:規格要求事項を逐条解説するとともに、FSMS構築のポイントについても分かりやすく説明いたします。

2)「ISO 22000:2018 内部監査員養成コース(2日間)」:規格要求事項の概要と内部監査の要点を2日で学んでいただけるコースです。ケーススタディを通した実践的な内容となっています。

昨秋の第一弾開催はオンラインにて開催しましたが、今回は対面形式を予定しています。詳細は、弊社ホームページ、または、インターテックアカデミー & トレーニング(TEL:03-4510-2767)までお気軽にお問い合わせください。

ISCC 認証(国際持続可能性カーボン認証)開始



この度、SDGs・サステナビリティの観点から、持続可能なものづくりへの貢献を目指して、

ISCC 認証(国際持続可能性カーボン認証)を開始いたしました。

ISCC PLUS/ISCC EU/ISCC CORSIA 認証(国際持続可能性カーボン認証)とは、世界初のバイオマス、バイオエネルギーの国際持続可能性カーボン認証制度です。持続可能な製造の実施、及びグローバルサプライチェーンにおけるあらゆる種類のバイオマス利用やサーキュラー原材料の使用を促進し、サプライチェーンの透明性が確保され、原材料が持続可能であることを証明することができます。世界的な地球保護への意識の高まりとともに、サステナビリティの重要性も増してきており、ますます関心が高まっています。ご興味ございましたら、弊社サステナビリティアシュアランス部門(Email:info.ba-japan@intertek.com)までお気軽にお問い合わせください。

INFORMATION

～規格改訂情報～

ISO/IEC 27001:2022の改訂について

～情報セキュリティ、サイバーセキュリティ、プライバシー保護—情報セキュリティマネジメントシステム—要求事項～

ISO/IEC 27001:2022の発行状況についてお知らせいたします。2022年10月25日に ISO/IEC 27001:2022(情報セキュリティ、サイバーセキュリティ、プライバシー保護—情報セキュリティマネジメントシステム—要求事項)が正式に発行されました。

英語版・対訳版は、日本規格協会のサイトにて販売が開始されております。

https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsho_id=ISO%2FIEC+27001%3A2022

ISO/IEC 27001:2022 の変更点について

- 一般に、必須条項の変更は比較的軽微です。
- いくつかのサブ条項の追加/修正を含む多くの構造変更があります。
- 要約すると、次の句には構造的な変更があります。
 - 第4.2項c)利害関係者のニーズと期待は、ISMSによって対処されます。
 - 第6条(現在は第6.3項を含む)

- 第9.2条には2つのサブ条項があります。
- 第9.3条には3つのサブ条項があります。
- 第10条が再編されました。
- 附属書A(規定)情報セキュリティ、サイバーセキュリティ及びプライバシー保護—情報セキュリティ管理策
- 附属書では、構造、番号付け、および新しい管理策の組み込みが大幅に変更されています。

認証の移行期限につきましては、2022年10月31日から3年間の2025年10月31日までになります。2013年版をご取得の組織様におかれましては、期限内に移行審査を受審いただく必要があります。

なお、認定機関によるインターテックの規格移行審査が完了しましたら、弊社で認証取得いただいている組織様へ移行プロセスについてご案内させていただきます。

本件についてのお問い合わせは、弊社東京事務所 ISMS認証部(03-3669-7408/gordon.moir@intertek.com)までお願いいたします。